佳ちゃんの部屋vol.20
〜デザインの職人！阿部さん〜

佳ちゃんの部屋へようこそ。今回はデザイン部の阿部さんです！もともとアルバイトで入社し、一度デザイン会社へ転職後にノットに戻ってきたという阿部さんは、今では社内で一番在籍が長いそうです！今回は学生時代のこと、東京に来たきっかけ、入社初期の頃のエピソードをお聞きしました。

名前：阿部大樹
出身：岩手

学生時代

——学生の頃は？

秋田にある公立の美術系の学校に通ってました。そこは人気があったので、最初は受かるのかな？と思いながら受験しに行って。僕は文系だったので、国語と英語だけやって、あとはデッサンと色彩構成っていう実技の試験でした。

それまで絵は趣味程度に描いていて、高校3年生から受験のための勉強を始めたんですけど、美術の先生には「今から？」って、まじか、みたいな顔をされました。色彩構成に関しては一切勉強してなかったんです。何をするのか分からないけど、とりあえず絵の具を持っていって、なんとなくやって帰ったら結果良かったんですよ。

——美術系の学校に行こうと思った理由は？

スーツを着る仕事に就きたくなかったんですよね。当時はインテリアとか家具が好きだったので、それを学べる学校に行こうと思って。そこにはグラフィックとプロダクト、建築系のコースがあって、グラフィックはやっぱり一番人気がありましたね。僕は就職面から見ても学ぶのは建築の方がいいかなと思ったので、そこを受験してすんなり決まりました。

仕事のこと

——その後の就職は？

なかなか地元では建築系の良い就職先が思い浮かばなくて、でもせっかくならデザインはやっていきたいなと思って。就活を始めたのも遅かったので、最初は地元の印刷会社に入りました。家族経営の会社で、当時自分が一番若かったので、そこのおばちゃん、おじちゃんに可愛がられてましたね。
でもだんだん若い人が辞めていって、若いのが自分だけみたいな状況になったんです。それで、ずっとこんなことしてらんないな、やっぱ東京なんだろうなって思い始めて、東京に来ました。

——ノットに入ってからは色々あったね。

一回辞めるって言ったこともありましたね。それでまず小澤さんに相談して、次に専務に相談して、最後に社長に辞めたいんですって話をしたら、「意味わかんねぇよ」って一蹴されて。「え…」って思って、でも社長はそれ以上何も話してくれないし、どうしようって（笑）

その後少し経ってから、たまたま社長も絡んでる案件で徹夜になっちゃったんですよ。そしたら社長が飲み会から帰ってきて、ずっとこっちを見てるんですね。深夜の会社で2人っきり……。やばい、気まずいなって思いながら、朝帰る時に「もうちょっと頑張ります」って社長に言ったんですよ。そしたら「あ、そう」って。

これから

——最近の趣味は？

あんまり執着するほどのものがなくて。来年はもっとフットサルに行けるようにしたいなと思ってます。あとはサッカー観戦ももう少し行ければと。

いつもはデスクに向かっている姿が印象的な阿部さんですが、学生の頃はフットサルサークルのまとめ役を担っていたそうです。来年はグラウンドに立つ姿がたくさん見られそうですね！

次回は新年の番外編として、これまでのインタビューの中で佳ちゃんがおっしゃった有難いお言葉をまとめた、佳ちゃん発「心に留めたい言葉 & マインドセット法」を公開したいと思います！お楽しみに。